



90年 いい風 いい夢
ひろがる未来

大垣市制90周年記録集

- 発行日 平成21年3月
- 発行 大垣市役所
〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
TEL (0584) 81-4111 FAX (0584) 81-3301
ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp>
- 企画・編集 大垣市企画部秘書広報課



この印刷物は環境保護のため、再生紙と大豆インクを使用しています。

市民参加で祝った市制90周年
未来に向け確かなあゆみ

大垣

市制90周年記録集





CONTENTS

目次

市長メッセージ	1
厳粛に市制90周年記念式典	3
にぎやかに大垣市民の集い	5
大垣ルネサンス先賢フェスティバル ...	7
市民の魅力でまちが輝く	13
空から見る伸びゆくまち「大垣」	15
写真で見るわがまち大垣 市制90年のあゆみ	19
大垣市制90周年記念事業一覧	33



大垣市長
小川 敏

輝かしい未来に向けて 新たな決意

大垣市は、大正7年4月1日に全国で71番目の市として誕生し、平成20年4月に市制90周年を迎えました。

本市が西濃圏域の中心都市として着実に発展してまいりましたのも、これまで幾度も被った災害や戦禍、社会経済情勢の変化の苦難に立ち向かい、乗り越えてこられた方々のたゆまぬ努力のお陰と、心から敬意と謝意を表する次第でございます。

この記念すべき市制90周年は100周年、そして未来に向けての飛躍の年であるとの認識のもと、多くの市民の皆様にご参加をいただき、記念式典や市民の集いをはじめ「大垣ルネサンス」をコンセプトに、新しいまちづくりにつながる事業として先賢の偉業を顕彰するとともに、大垣のまちの個性に関連づけた先賢展などを開催いたしました。

市制90周年を契機として、本市がさらなる飛躍を遂げられるよう決意を新たにするとともに、大垣市の輝かしい未来のため、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人口と面積

●人口・世帯数

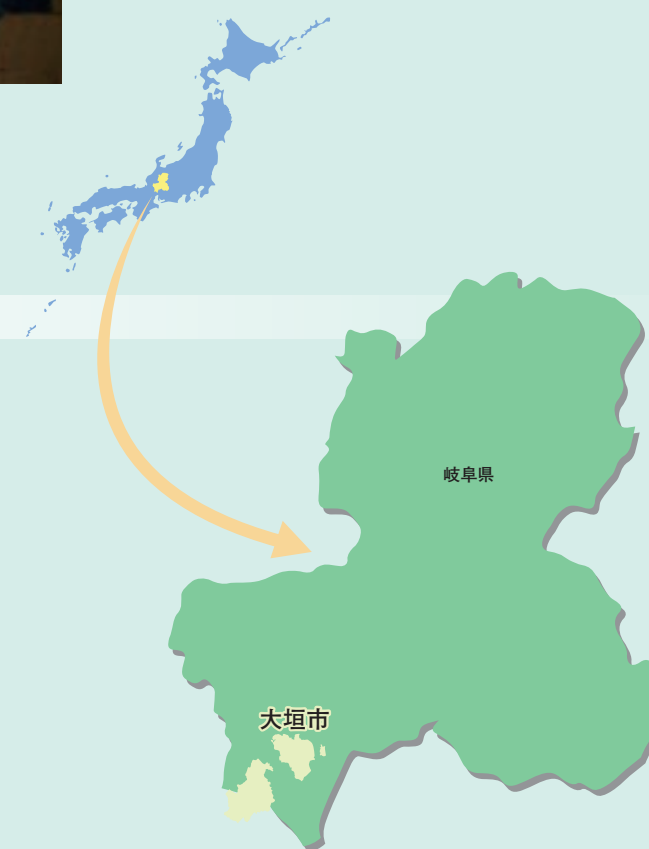
(平成21年3月1日現在の住民登録)

人口	男	80,825人
	女	84,780人
	計	165,605人
世帯数		61,829世帯

●位置・面積

市役所の位置

所在地	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
東 経	136° 36' 46"
北 緯	35° 21' 34"
面 積	206.52km ²





厳粛に 市制90周年記念式典



小川市長の式辞



高橋市会議長のあいさつ

市は10月11日、市制90周年記念式典をスイトピアセンター文化ホールで開き、100周年に向け大垣市のさらなる飛躍へ、決意を新たにしました。

式典では、小川市長の式辞や高橋市会議長のあいさつなどの後、式典に参加したフレンドリーシティ、韓国・昌原市、中国・邯鄲市、鹿児島市、ベルギー・ナミュール市、新たにフレンドリーシティとして交流することになった鹿児島県日置市の5市を紹介しました。

続いて、大垣市出身で米ニューヨーク市在住の中西香爾氏に、名誉市民の称号と名誉市民章を贈りました。中西氏は、発がん性物質や制がん剤の構造解明など生物有機化学分野の世

界的権威で、世界各国で化学関係賞を受賞。日本では平成19年に、文化勲章を受章されました。

奥の細道むすびの地 周辺整備構想を発表

さらに小川市長が「奥の細道むすびの地周辺整備構想」を発表。中心市街地の活性化に向け、文化の薫り高い大垣の個性を生かし、「憩いとにぎわいの空間」を整備する同構想について説明しました。

また、「市の魚」に決まったハリヨの生態などを映像で紹介。最後に興文中学校合唱部の皆さんが「大垣市民の歌」を合唱し、市制90周年を祝いました。

奥の細道むすびの地整備構想

奥の細道むすびの地記念館をはじめ、先賢館やイベント広場などを整備するとともに、川湊の風情の修景整備などを進める構想を発表しました。



構想発表とイメージ図



ベルギーのナミュール市代表と握手を交わす小川市長



中西香爾氏に名誉市民章を贈呈



市の魚「ハリヨ」

豊かな水環境を守るシンボルとして、市民公募により市の魚「ハリヨ」を制定。記念式典で発表しました。



記念式典に参加した大勢の市民の皆さん



特設ステージイベントの
フィナーレ



会場を埋め尽くした大勢の市民ら

にぎやかに 大垣市民の集い

晴天に恵まれた10月11日、大垣駅
通りで市民の集いを開催。新大橋北
交差点に設置した特設ステージで市
民団体の歌や踊り、タレントの細川茂
樹さん、熊田曜子さんのトークショ
ーや歌手の石原詢子さんによる歌謡ショ
ーなど、多彩な催しを繰り広げました。
また、大垣まつりの軸11両の特別曳
き揃えなどもあり、会場には10万人を
超える市民らが詰めかけました。

華やか朝鮮通信使行列

江戸時代に旧美濃路を通り江戸へ

向かい、各地に影響を与えた朝鮮通
信使行列も再現し、あでやかな衣装で
踊りや演奏を披露しました。

船町での出発式では、大垣少年少
女合唱団の合唱と、フレンドリーシ
ティ韓国・昌原市立舞踊団員の踊りで観
衆を魅了。その後、竹島町の榑軸を先
頭に、舞踊団員と在日大韓国民団、
市民や朝鮮通信使ゆかりの十六町豊
年踊り隊など207人の皆さんが旧美濃
路や本町通りを行進しました。

昌原市の朴完洙市長も正使役で行
列に参加。沿道に詰めかけた大勢の
市民に手を振ったり握手をしたりし
て、友好を深めました。



行列の先頭を歩く竹島町の榑軸



大垣まつりの11両の軸の特別曳き揃え



曳き揃えられた軸の中を進む朝鮮通信使行列



踊りや演奏を披露する昌原市立舞踊団の皆さん



正使役の昌原市長



十六町の豊年踊り隊の皆さん



オープニング会場を彩った花々

春に観る 花と音楽のまち



大垣藩初代藩主・戸田家子孫のベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク氏(写真右)らによる室内楽コンサート



市民団体が企画運営した親子かがやき体験工房



多くの来場者でにぎわう春の先賢展会場



市民公募による市民かがやきギャラリーコンサート



先賢展と同時開催した写真展・写真で見るわがまち大垣のあゆみ

大垣ルネサンス 先賢フェスティバル

四季を通して 多彩な催し—

市ゆかりの先賢を顕彰する、「大垣ルネサンス先賢フェスティバル」が4月26日に開幕—。

スイトピアセンター音楽堂で行われたオープニングセレモニーでは、邦楽の調べに乗せて子どもらが生け花を披露。華やかに開幕を飾りました。

シンボルマークとキャッチフレーズの表彰の後、小川市長、津波市議会議長(当時)と子どもらが会場の皆さんと

もにオープニングを宣言＝写真：上＝。

また、メイン事業の大垣ルネサンス先賢展と写真で見るわがまち大垣のあゆみも同日に始まり、会場は多くの人でにぎわいました。

フェスティバルは、季節ごとにテーマを設け、3月8日までイベントを開催。春は「花と音楽のまち」、夏は「鉄道と交通のまち」、秋は「歴史と文化のまち」、冬は「産業と防災のまち」と題して、大垣ゆかりの先賢を紹介したほか、体験工房やギャラリーコンサートなど、多彩な催しを繰り広げました。



市役所ロータリー前とスイトピアセンターに設置した市民花飾りギャラリー

春の先賢展で
紹介した先賢

4月26日～5月25日



飯沼 惣斎
(1783～1865)

近代植物学の開拓者



戸田 極子
(1857～1936)

日本音楽を西洋に紹介した琴の名手



小倉 宋子
(1891～1944)

大垣から世界へ羽ばたいた天才ピアニスト



江口 夜詩
(1903～1978)

上石津出身の偉大な作曲家



戸田 義明
(1939～2003)

墨俣が生んだ眩惑のピアニスト

夏に想う 鉄道と交通のまち



親子連れらでにぎわった鉄道模型操作体験



夏の先賢展では鉄道・交通にかかわる博士を紹介



人気を集めたミニSL乗車体験



吹奏楽団と園児たちによる先賢展かがやきコンサート

夏の先賢展で
紹介した先賢

6月28日～7月27日



松本 荘一郎
(1848～1903)

わが国最初の工学博士
で日本鉄道界のリーダー



野村 龍太郎
(1859～1943)

鉄道界の元老で南満州
鉄道社長の工学博士



立川 勇次郎
(1862～1925)

電気鉄道業界の先駆者
で養老鉄道の創始者



那波 光雄
(1869～1960)

鉄道敷設の大家で橋梁
学の工学博士



谷 九太夫(木因)
(1646～1725)

船町湊の発展に尽くし
た船問屋

秋に振り返る 歴史と文化のまち



歌舞伎公演「松竹大歌舞伎」



かがやきっ子作品展
オープニングセレモニー



12人の先賢を紹介した秋の先賢展



「時空(とき)を巡る」と題した守屋多々志画伯の記念展

秋の先賢展で
紹介した先賢

10月4日～11月3日



谷 木因
(1646～1725)

芭蕉と交友のあった大垣
俳壇の指導者



江馬 蘭斎
(1747～1838)

西洋医学の先駆者



江馬 細香
(1787～1861)

墨竹画を得意とした女
流漢詩人



梁川 星巖
(1789～1858)

幕末の漢詩人で勤皇の
志士



張 紅蘭
(1804～1879)

星巖とともに詩画の才
能を発揮した才女



小原 鉄心
(1817～1872)

大垣藩の藩政改革の推
進者



南条 文雄
(1849～1927)

梵語学の道を究めた文
学博士



松井 直吉
(1857～1911)

東大総長をつとめた大
学教育の先駆者



佐藤 三吉
(1857～1943)

近代外科学の最高峰
に立った医学博士



和田 芳吉
(1865～1934)

近代図書館学を確立し
た文学博士



脇水 鉄五郎
(1867～1942)

地質学を大衆化した理
学博士

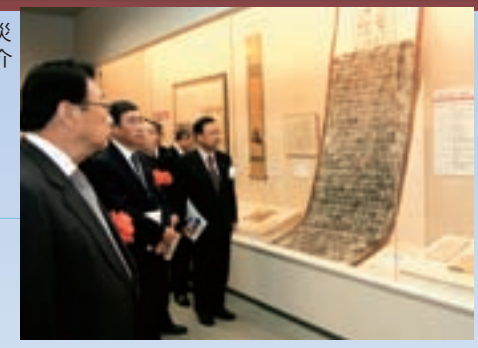


関屋 龍吉
(1886～1976)

社会教育での親
学博士

冬に輝く 産業と防災のまち

冬の先賢展では産業と防災
に尽力した先賢を紹介



市内ものづくり企業の展示やサイエンスショー、ロボットの展示とデモンストレーション、ものづくり体験などを行った「ものづくりフェスティバル」



耐震構造について学ぶ親子かがやき体験工房



「現代の名工」久保田五十一年さんを講師に招いた、かがやき講演会



冬の特別展「大垣の産業日本一」

冬の先賢展で
紹介した先賢

2月7日～3月8日



伊藤 伝右衛門
(1741～1785)

鵜森伏越樋の建設に命をかけた大垣藩士



関谷 清景
(1854～1896)

世界初の地震学教授となった理学博士



金森 吉次郎
(1864～1930)

治山・治水に尽くした大垣輪中の恩人



水野 利八
(1884～1970)

世界的なスポーツ用品メーカーを創業した実業家



土屋 義雄
(1884～1970)

産業の振興と学校教育の充実に尽力した実業家



小川 宗一
(1901～1990)

青少年教育に尽力し、国産バルブコアを開発した企業人



須崎 潔
(1902～1973)

市体連の生みの親となった決断と人情の経営者



田口 利八
(1907～1982)

スポーツ・文化の振興にも貢献した日本のトラック王



土屋 斉
(1907～2003)

経済界の活性化にリーダーシップを発揮した文化人

未来宣言文

わたしたちは
大垣市制90周年を通じて
90年の歴史を振り返るとともに
郷土の生んだ先賢から多くのことを学び
さまざまな魅力を再発見しました
ここに、大垣で暮らすことに誇りを持ち

大垣、そして、私たちの
輝く未来を迎えるため
手と手を携え、次の世代に引き継ぎます
それでは皆さん
市制100周年、
未来に向けて飛躍しましょう！



「未来宣言」

高らかに

フェスティバル閉幕

「大垣ルネサンス先賢フェスティバル」が3月8日に閉幕――。

大垣城ホールで行ったエンディングセレモニーでは、世代を超えて構成された約200人の合唱団の歌と映像で季節ごとにイベントを紹介する「歌と映像でつづる大垣市制90周年～未来につなぐ心のふるさと大垣～」を披露し、市制90周年記念事業を振り返りました。

主催者あいさつなどが行われた後、

小川市長、高橋市議会議長、小川大垣商工会議所会頭らが登壇。合唱団と二足歩行ロボットASIMO、そして会場に集まった市民の皆さんと一緒に「未来宣言」を行いました＝写真：上＝。

「未来宣言」の最後、小川市長が「市制100周年、未来に向けて飛躍しましょう！」と力強く述べて宣言を締めくくりました。

そして、かけがえのないふるさと大垣の未来に思いをはせ、来場者全員で「ふるさと」を合唱し、フェスティバルを締めくくりました。



「歌と映像でつづる大垣市制90周年～未来につなぐ心のふるさと大垣～」を披露



城下町おおがき新春マラソン2009
中心市街地を会場に開かれたマラソン大会には、1700人を超える市民ランナーが参加しました。沿道では地元商店街の皆さんによる、豚汁やぜんざいなどを振る舞う「おもてなし」が行われました。



十万石まつり
90基のみこしの練り歩きや少年団体のパレードなどが行われました。



ふるさと再発見おおがきウォーキング
大垣の名所をめぐる大垣・上石津・墨俣の3地域で開催したウォーキング。



さわやかスポーツ交流会
世界トップレベルのアスリートの技術にふれようと大勢の人が参加しました。



いき粋墨俣 つりびな小町めぐり
市民団体の企画運営による催し。地域の魅力を再発見しました。

未来の大垣へ 夢と期待

市制90周年の節目の年にあたり、記念事業に参加した感想や未来の大垣への夢や期待を、市民の皆さんに聞いてみました。

大垣地域

原 善克さん〔さわやかスポーツ交流会参加者〕

世界レベルの選手のプレーが見られて、とても感激しました。僕も将来、オリンピックに出られるような選手になれるよう頑張ります。将来の大垣市には、みんなが住んでよかったと思えるような、人にやさしいまちになってほしいと思います。



大垣地域

米山 実衣留さん〔大垣の未来を語るシンポジウム参加者〕

学校の生徒会の仲間と記念事業に参加しました。市内には私の好きなものや好きなところがたくさんあります。これらを使って大垣らしい環境整備ができればと思います。大垣市には、市民が胸を張って「大垣が大好き」と言える、そして「大垣を誇れる」市になってほしいです。



大垣地域

濃添 智誠さん〔城下町おおがき新春マラソン2009参加者〕

職場の友人と90周年の記念になればと参加しました。100周年のときには私も結婚し、親になっていると思います。子育て環境の充実を期待しています。また、大垣まつりなどの素晴らしいイベントをもっとPRし、年中人が集まってくるような市になってほしいと思います。



大垣地域

大橋 博行さん〔ものづくりフェスティバル参加者〕

90周年事業に参加し、大垣のものづくり産業のPRをお手伝いできたことをうれしく思います。この住みよい魅力ある大垣を全国にどんどん発信をし、100周年には全国から多くの人を訪れる、にぎわいと活気にあふれるまちになってほしいですね。



上石津地域

山村 禮子さん〔時山さしこ200%魅力アップ事業参加者〕

時山の伝統文化さしこを市民の皆さんに知っていただこうと参加しました。これからも他地区の人と交流して、自然あふれる時山をどんどんPRしていきたいです。そして、たくさんの人に来ていただき、時山の魅力を肌で感じてほしいと思います。



墨俣地域

白木 昌子さん〔ふるさと再発見おおがきウォーキング参加者〕

3年前の合併で大垣市民になりましたので、90周年の記念にと思い参加しました。これからも人にやさしいまちづくりをしていただき、100周年を迎えたときには、あの時合併してよかったなと思えるような活気ある市になってほしいです。



市民の魅力で まちが輝く

市制90周年を市民の皆さんと祝おうと開催した記念事業に、大勢の人が参加。このほか、市民や市民団体の皆さん自らが開催したり、企画運営を担当したりした盛りだくさんの催しが年間を通して繰り広げられ、まちが活気であふれました。

市制90周年を機に、大垣の発展の礎を築いた先賢、そして、歴史や文化、産業、自然などの大垣ならではの財産を大切に、市民の皆さんと一緒に、来るべき100周年、さらに未来へと、ダイナミックに飛躍できるまちを目指します。



大垣第九演奏会
演奏は大垣市室内管弦楽団、合唱は市内外から集まった「大垣第九を歌う会」の皆さんです。

空から見る 伸びゆくまち「大垣」



大垣地域



昭和47年の中心市街地

中心市街地

東西にJR東海道本線が走り、大垣駅から南に伸びる駅通り周辺には、大垣城や商店街があります。水門川沿いの船町にある俳聖・松尾芭蕉の奥の細道むすびの地は、当時の面影がしのばれます。

赤坂地区

市の北西部に位置する赤坂地区。旧中山道が東西に走り、沿道は宿場町の面影を今に残しています。

昭和49年の赤坂地区



名神高速道路大垣I.C周辺

東西交通の大動脈「名神高速道路」の大垣I.C(インターチェンジ)。南北には国道258号が走り、沿道には問屋団地や鉄工団地のほか、サービス業の店舗などが立地しています。



昭和47年の大垣I.C周辺





ソフトピアジャパン

岐阜県が進める高度情報都市づくりの一環として整備されたソフトピアジャパン。平成10年には、この一角に地域情報化の拠点となる大垣市情報工房をオープンしました。



平成8年にセンタービルが完成

市民病院

西濃地域の拠点病院「大垣市民病院」。平成19年には、抗がん剤治療を外来で行う通院治療センターなどの高度医療施設を備えた3病棟をしゅん工。電子カルテシステムも本格稼働しました。



昭和47年の市民病院



上石津地域

市の西に位置する上石津地域。恵まれた自然を生かした、多良峡森林公園やかみいしづ緑の村公園、日本昭和音楽村など、自然と親しめる施設がそろっています。



日本昭和音楽村



墨俣地域

市の東に位置する墨俣地域。豊臣秀吉ゆかりの墨俣一夜城（歴史資料館）に続く犀川の堤防には、約2kmにわたってサクラ並木が続きます。

犀川堤のサクラ



写真で見る
わがまち大垣
市制90年のあゆみ

わがまち大垣の源流を訪ねて



美濃国分寺跡(国史跡)と美濃国分寺模型



内乱とのかかわり

大垣の市域は古くは伊勢湾に連なる入海でしたが、木曾川、長良川、揖斐川などの堆積作用によって陸地化が進み、沖積平野が形成されました。市域北西部の金生山は、全山が石灰岩からなり、古生代の石炭紀、ペルム紀に属します。市域には、弥生時代の遺跡も発見され、土器・木製品・銅鐸が出土しています。市域北西部には4～5世紀の前方後円墳をはじめ、竪穴式、横穴式の古墳が発見され、貴重な副葬品も出土しています。

この地域は、日本の歴史上、大きな転機となった内乱に、たえずかかわり合ってきました。そのはじめは、弘文元年(672)、大海人皇子の率いる吉野方と大友皇子の率いる近江方が対立抗争した、いわゆる壬申の乱です。

一方、この地域は都への交通の要地であり、一級国道ともいえる東山道が通っていました。奈良時代には、当市域の青野町に美濃国分寺が建立されました。南一色町付近には、小字名の残存から、条里制の遺構がしのべられます。

中世の当市域には、聖武天皇の施入によると伝えられる東大寺領大井荘



昼飯大塚古墳(国史跡)

をはじめ、中河御厨、津布良開発御厨、尼寺荘、多芸荘、二木荘などの荘園の存在が知られています。こうした荘園制を基盤とする貴族・寺社のいわゆる古代勢力と、それに対抗して台頭してきた武家勢力は、古代から中世にかけて新しい秩序の確立をめざして争乱を繰り返していました。この新しい時代へのうねりの中でおきたのが、平治の乱の青墓における源朝長の悲劇であり、大垣付近を戦場として戦われた承久3年(1221)の承久の乱、また延元3年(1338)の青野ヶ原合戦です。

そして、慶長5年(1600)の関ヶ原合戦では、大垣城が西軍・石田三成の本拠地となりましたが、東軍が勝利をお



戸田公入城絵



大垣藩十万石初代藩主・戸田氏鉄公肖像画



濃尾大震災／明治24年



大垣女学校なぎなた訓練／明治末期



開業当時の大垣駅／明治17年

さめて、新しい時代の幕開けとなりました。

落城後、幾度か城主が変わったのち、寛永12年(1635)、尼崎から戸田氏鉄が十万石の城主としてこの地に転封され、そのまま明治の時代までこの戸田氏11代が城主として、大垣の発展を導いたのです。

大垣藩から大垣町へ

明治4年(1871)7月の廃藩置県によって、大垣藩は大垣県となり、さらに同年11月、美濃の諸県は岐阜県に統合されました。その後、明治21年(1888)4月、

市制・町村制が公布され、大垣は明治22年(1889)6月、近くの14か村を合併し、大垣町となりました。以来、大正7年(1918)まで、大垣町として今日に至る発展の基礎づくりが進められてきたのです。この間、連年の大洪水や濃尾大震災により、生活の貧窮はその極に達していました。しかし、明治末から大正にかけて、木曾三川分流工事の完成、東海道線・養老線の開通などにより、町勢は大いに伸長しました。

ちなみに、大垣の名は、暦応3年(1340)の「大井荘華厳会料名寄帳」(東大寺文書)に「大柿」とあるのが初見で、古来「大垣」と「大柿」が併用されてきました。

History

弘文元年(672)	壬申の乱
承久3年(1221)	承久の乱
慶長5年(1600)	9月 関ヶ原合戦、徳川家康岡山(お勝山)に本陣をしく
寛永12年(1635)	7月 戸田氏鉄尼崎より大垣移封
明治4年(1871)	7月 大垣藩を廃し大垣県を置く
	11月 大垣県を廃止し岐阜県に属す
17年(1884)	5月 大垣駅開設
24年(1891)	10月 濃尾大震災
29年(1896)	7月 今福堤防決壊、大垣輪中大洪水
	9月 割田・多芸島の堤防決壊、再度大洪水
42年(1909)	この頃大垣に電灯つく



金生山の化石

大正7年～15年

明治からの願い、大垣市誕生



市制施行当時の大垣市役所

大正7年4月1日 市制施行

大正7年(1918)4月1日、岐阜県安八郡大垣町は、県下で2番目の市制をしくこととなり、大垣市が誕生しました。当時の人口は3万2,000人。初代市長には、大垣町長であった三原範治が就任しました。

市制施行は、明治の末から大垣の人たちの宿願でした。その願いがようやく実現したのです。それだけに喜びはひとしおで、4月1日から3日間、市制施行祝賀の諸行事が、にぎやかに繰り広

げられました。1日には、市制施行の奉告祭をはじめ、大垣市役所開庁式、約500人の来賓を招いての祝賀式を開催。2日には、大垣公園で2,000人余りの市民が集まって、市民祝賀会が盛大に行われました。この3日間には、学生相撲、武者行列、ちょうちん行列、旗行列、演武大会、競馬大会、花火大会、餅まきなど多彩な行事が行われました。

大正8年(1919)4月、養老鉄道が全線開通、同年8月、国鉄美濃赤坂線が開通しました。このことは、工場の誘致を進め工業都市を目指している大垣市にとって、市勢発展の基盤をより強いものとなりました。

また、大正8年11月に大垣市立高等小学校、南尋常小学校を開設、大正9年(1920)4月には大垣実科女学校を創立、大正10年(1921)4月には安八農学校を設立、大正15年(1926)には県立第二工業学校の開校、市立幼稚園の開設など、教育面に相当の力が注がれました。

一方、第一次世界大戦後の大正9年以降、わが国は慢性的不景気に陥りました。

大正14年(1925)、都市計画指定都市となり、大工場の誘致、新設道路の着工など、大垣市の周辺の村々を含めた10万都市構想を打ち出しました。



江東尋常高等小学校運動会／大正時代



住吉燈台／大正時代



本町通り／大正初期



大垣駅前／大正初期



大垣に初めての自動車（船町通り）／大正初期



運動会で披露された「白虎隊」（大垣市立中尋常高等小学校＜現在の興文小＞）／大正末期

History

- 大正 7年(1918) 4月 大垣市制を施行
- 7月 初代市長に三原範治
- 8年(1919) 4月 養老鉄道全通
- 8月 国鉄美濃赤坂線開通
- 9年(1920) 4月 大垣実科女学校創立
- 11年(1922) 1月 第2代市長に土屋峰吉
- 13年(1924) 4月 大垣市立高等女学校設立
- 10月 第3代市長に東島卯八
- 15年(1926) 10月 養護老人ホーム養老華園を開設

激動の時代・昭和前期



昭和通り（現在の俵町付近）
／昭和18年頃



「戸田公入城300年祭」大名行列見物でにぎわう大垣駅通り／昭和9年4月

数々の不幸を生んだ戦争

大正15年(1926)12月25日、大正天皇が崩御され、元号は「昭和」に改まりました。昭和元年はわずか一週間で終わり、昭和2年(1927)を迎えました。

大垣市は、大正14年(1925)に打ち出した10万都市構想に基づき、昭和3年(1928)4月15日には、安八郡北杭瀬村の一部と合併、昭和9年(1934)12月5日には安八郡南杭瀬村、昭和10年(1935)6月1日には安八郡多芸島村、昭和11年(1936)6月1日に安八郡安井村、昭和15年(1940)2月11日に不破郡宇留生村、静里村と相次いで合併しました。

昭和2年の金融恐慌、昭和4年(1929)の世界恐慌、昭和5年(1930)の米とまゆの大暴落は、日本国中を混乱させ、産業界は不況の底にあえぎ、農漁村の不況も深刻で、大垣市内においても、倒産と多数の失業者を続出し、労働者の生活は窮迫していました。また、農産物の下落は著しく、農民を窮地に陥れました。大垣市内の中山道や美濃路沿いにも失業者の群れがあふれ、空き家で寝る者、物乞いに入る者も多く、この哀れな姿に炊き出しまでした地区もありました。

深刻な不景気の続くなか、昭和6年(1931)には満州事変がおこり、いわゆる15年戦争へと突入。経済不況と戦雲があいまって、日本社会はますます不安に包まれていきました。昭和8年

(1933)、当時の市長は、新庁舎建設積立金4万円を工場誘致に繰り入れ、急増する生活困窮者の救済に努めました。また、同11年には、杭瀬川と水門川をつなぐ大垣運河を建設。そして延期されていた市庁舎も完成しました。

昭和12年(1937)、日中戦争がおこると、戦争態勢は一段と強化。繊維工場などの民間工場が兵器生産の軍需工場に切りかえられ、戦争が激しさを増すなか、兵器の原料のための金属回収が強力に進められました。また、日中戦争の長期化に伴って、大垣からも大勢の若者たちが出征兵士となって戦線に送られていきました。さらには、市内のあちこちで防空訓練が繰り返されました。昭和16年(1941)太平洋戦争が始まると、空襲は必至の情勢になってきました。

昭和18年(1943)に入ると、海外の戦局は悪化し、国内の決戦体制が確立。東島市長は、先頭を切って、食料増産、道路拡張、家屋疎開などを進めました。

昭和20年(1945)3月以降、7月29日の大空襲を受けるまで、大垣は6回もの空襲にさらされました。7月29日の大空襲で、市内の大半は焼失し、主な官公署では警察署と大垣駅のみが焼失を免れました。被災戸数は4,900戸、被災人口は3万人を数えました。

それから2週間余り過ぎた8月15日、数々の不幸を生んだ戦争は終結しました。真夏の太陽がぎらぎらと照りつける暑い日でした。



大垣駅通りのヤナギ／昭和初期



水門川の旧排水機場の工事／昭和初期



出征兵士を送る寺内町の人たち／昭和12年ころ



戦災で焼失、石垣だけの大垣城址



大垣駅通りの人力車／昭和13年ころ



戦災で焼失した市街地／昭和20年7月



豪雨による浸水被害（大垣公園）
／昭和13年7月

History

- 昭和 3年(1928) 4月 安八郡北杭瀬村のうち木戸・南一色・笠木・笠縫・河間と合併
- 9年(1934) 4月 初代大垣藩主・戸田公入城300年祭
- 12月 安八郡南杭瀬村と合併
- 10年(1935) 6月 安八郡多芸島村と合併
- 11年(1936) 4月 大垣城国宝指定
- 6月 安八郡安井村と合併
- 15年(1940) 2月 不破郡宇留生村・静里村と合併
- 19年(1944) 12月 東南海地震
- 20年(1945) 7月 大垣空襲
(市街地の大半を焼失、被災戸数4,900戸、被災人口3万人、死者50人、負傷者100余人)
- 12月 第4代市長に安藤又三郎

写真で見る
わがまち大垣
市制90年のあゆみ

昭和21年～40年

戦後の復興から 新しいまちづくりへ



交差点で交通整理をする警察官
(郭町)／昭和25年



大垣駅南の亀の池の自噴水／昭和25年

復興のつち音高く

戦争終結、敗戦。焦土のなかで、日本人の多くは虚脱状態にありました。しかし、それから数か月過ぎると、驚くべき混乱が日本全土をおおいました。交通機関はほとんどまひ状態になり、物資の生産もほとんど停滞、配給は遅配、欠配が続き、人々は自らの力で食料を確保することにほん走しました。統制経済の制限をくぐり抜け、非合法手段で食料を確保しました。いわゆる“闇買い”です。

これにこたえるかのように、日本中に2万に近い“闇市”ができ、そこで多くの物資が流通していました。大垣でも駅前近辺と護国神社参道に闇市らしい店があったといわれていました。

大垣も極度の物資不足で生活も困窮。そうした中での天皇陛下市内巡行は、市民に希望と光を与えてくれました。

敗戦後すぐに進駐してきた連合国占領軍(主としてアメリカ軍)は、日本民主化のために憲法の改正・人権確保・経済機構の民主化とともに、地方分権の強化と地方行政の改革などを指令しました。成年男女に選挙権を与え、県知事・市町村長を自らの手で選ぶこと、地方議会の権限を拡張することなどが、その主なものでした。

これに基づき、大垣市では、昭和22年(1947)4月に第一回の民主選挙が行われ、初の公選による市長に川井一(第5代)が選ばれました。

戦後、市政の重要課題は、戦災復興と市街地整備、都市計画に基づく駅前通りなどの高層防災建築を完成させるなど、近代都市づくりでした。

戦前から栄えていた大垣の繊維工業は、戦後の工業復興に伴って、また盛んになってきました。また、赤坂地区における石灰・大理石工業は地場産業として発展。大垣の町は活気を取り戻してきたのです。

近隣町村との合併相次ぐ

この間、昭和22年10月1日には不破郡綾里村、安八郡洲本村と合併、昭和23年(1948)6月1日には安八郡浅草村、同年10月1日には安八郡川並村と安八郡牧村大字馬瀬、昭和24年(1949)4月1日には安八郡中川村、昭和26年(1951)4月1日には安八郡和合村、昭和27年(1952)6月1日には安八郡三城村、昭和29年(1954)10月1日には不破郡荒崎村(大字綾戸を除く)と相次ぎ合併し、これにより人口は一挙に9万4,051人となりました。

文教都市大垣を 確たるものに

占領軍は教育の面でも改革を打ち出し、これを受けて新時代に即応した教育基本法、学校教育法が施行され、新しい学校教育の体系として、6・3・3・4制が定められました。この新制度の発足によって、昭和22年4月「国民学校」の名称を「小学校」に改めました。興文小学校



水門川でのボート遊び／昭和25年

は昭和22年7月、北舎を完成させ、続いて昭和29年に鉄筋校舎3階12教室を建設。東小学校も昭和22年1月に、第1期工事に入りました。

中学校も、昭和22年4月の新制中学校発足と同時に、校舎独立の気運が高まりました。東中学校は、大垣商業学校・安井小学校に分校を持ち、一時、興文中学校と合併して東興文中学校となり、市立工業学校の校舎を借用していました。北中学校も大垣中学校・市公民館・校下3小学校に分校を置いていました。西中学校も、同様に小学校に分校を置いていました。新制中学校校舎は間借りにより当座をしのいでいましたが、当初から独立校本建築をめざし、川並中学校が最初の独立校校舎の完成をみました。西中学校は昭和



学校給食始まる(南小学校1年生)／昭和26年



全国モデルスクールとして完成した東中学校
／昭和27年1月



名神高速道路大垣インターチェンジ開通
／昭和39年9月

23年8月に完成。北中学校も昭和26年9月に完成しました。他の中学校も同様、何期かに分けて工事が進められ、およそ10年間続きました。

昭和23年から新制高等学校が設置されることになり、大垣中学校をはじめとした旧制中等学校は一斉に高等学校となりました。市内では8校が開校され、学区制が施行されました。

昭和20年代も半ばになると、戦後の混乱をようやく脱し、世の中は安定の兆しを見せ始めました。

高度経済成長の スタート

昭和31年(1956)6月、政府は「経済白書」の中で、「もはや戦後ではない」と書き、新しい時代の訪れを告げました。

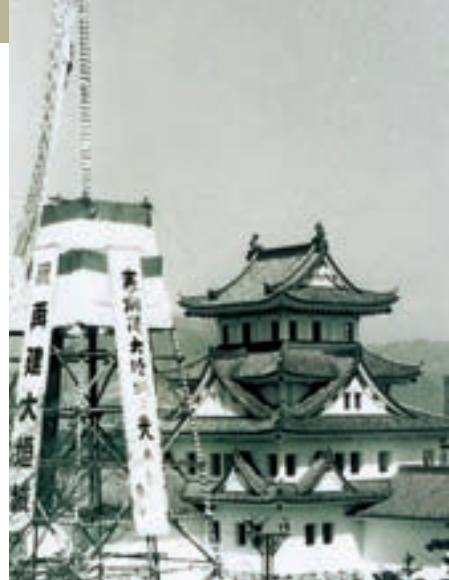
古くから城下町大垣の象徴として親しまれてきた国宝大垣城は、昭和20年7月の戦災で焼失しましたが、昭和34年(1959)4月、新たに再建され、大垣のシンボルとして、現在も市民の心のよりどころとなっています。

昭和30年代、工業都市大垣は、高度経済成長の担い手として、新たな発展を遂げるようになりました。大垣市における鉱工業は、良質で豊富な水資源、さらに東西に走る名神高速道路、国道21号と南北に走る国道258号など、恵まれた交通体系などのもと、飛躍的な発展をしてきました。

一方、高度経済成長のもとで、交通体系の整備とともに自家用車が普及してくると、大垣市西部は新興住宅地として大きく変ぼうしていきました。

History

昭和21年(1946)10月	昭和天皇、復興状況視察のため来垣
22年(1947) 2月	初の公選で、第5代市長に川井一
10月	不破郡綾里村・安八郡洲本村と合併
23年(1948) 6月	安八郡浅草村と合併
10月	安八郡川並村・牧村の一部(馬瀬)と合併
24年(1949) 4月	安八郡中川村と合併
26年(1951) 4月	安八郡和合村と合併
27年(1952) 6月	安八郡三城村と合併
8月	大垣競輪場開設
28年(1953) 6月	第6代市長に三輪勝治
29年(1954) 10月	不破郡荒崎村(綾戸を除く)と合併
30年(1955) 4月	自治会組織できる
31年(1956) 3月	国鉄梅見線開通
32年(1957) 9月	第7代市長に山本庄一
34年(1959) 4月	大垣城天守閣再建
9月	伊勢湾台風により被災、最大風速45mを記録
10月	市民病院発足
35年(1960) 10月	国勢調査で人口10万人を超える
38年(1963) 3月	県道大垣一宮線開通
39年(1964) 2月	新市庁舎完成
9月	名神高速道路大垣インターチェンジ開通
10月	東海道新幹線開通
40年(1965) 9月	岐阜国体夏季大会開会
10月	岐阜国体秋季大会開会



再建された大垣城／昭和34年4月

伸びゆく大垣・昭和後期



大垣市・赤坂町合併祝賀会／昭和42年9月

赤坂町と合併

昭和42年(1967)9月には、10年来懸案の不破郡赤坂町が大垣市と合併。人口は13万1,858人(同年4月1日)となり、名実ともに西濃地域の中心都市として堅実な歩みをはじめました。

昭和30年代後半からの都市化現象は、その後も急速に進み、大垣市も周辺地域の人口が多くなるドーナツ化現象がみられ、周辺地域の活性化が顕著になりました。

これに伴い大垣市では、上・下水道をはじめ、ごみ処理施設、公設地方卸売市場など生活環境施設の整備をつぎつぎと進めました。市制50周年を記念して、昭和43年(1968)4月市民会館が完成。昭和50年(1975)4月には文教都市大垣のシンボルとしての文化会館が完成しました。続いて、昭和55年(1980)1月に市立図書館、同年2月に総合体育館が完成、昭和57年(1982)10月

には歴史民俗資料館、昭和60年(1985)6月には総合福祉会館、同年10月には郷土館、昭和62年(1987)9月には浅中公園総合グラウンドなどが完成し、文化の薫り高いまちづくりが積極的に進められました。

これらは、長期的な都市づくりの指針として、昭和45年(1970)に第一次総合計画を策定し、昭和55年には、やがてくる新たな時代に備え「明るく 豊かな 住みよい産業文化都市」の創造を目指して、大垣市第二次総合計画を打ち出しました。

国際社会への対応が叫ばれる中、昭和63年(1988)には、国内1都市、海外5都市との官民一体となった都市間交流「フレンドリーシティ交流」が始まりました。また、「西濃はひとつ」を願いに、地域活性化のひとつとして、スィンク西濃イベントがスタートしました。



集団就職で大垣駅に降り立つ若者たち／昭和41年



藤江高架橋の完成で国道258号全線開通／昭和57年12月



大垣駅前広場が完成／昭和62年10月



総合体育館完成／昭和55年2月



保健センター・急患医療センター完成／昭和60年3月



初代大垣藩主・戸田公入城350年祭での武者行列／昭和60年10月



9・12豪雨災害／昭和51年9月



野外活動センター完成／昭和57年4月



市制70周年記念式典を契機にフレンドリーシティ交流始まる／昭和63年10月

History

- 昭和42年(1967) 9月 不破郡赤坂町と合併
- 43年(1968) 4月 市民会館完成、市制50周年記念式典開催
- 45年(1970) 4月 大垣消防組合発足
- 6月 第8代市長に広瀬重義
- 48年(1973) 8月 市の木(クスノキ)、市の花(サツキ)決まる
- 11月 西南濃粗大廃棄物処理センター完成〈養老郡養老町〉
- 12月 米野清掃センター完成
- 49年(1974) 4月 第9代市長に清水正之
- 11月 公設地方卸売市場開設
- 12月 岐大バイパス全線開通
- 50年(1975) 4月 文化会館・老人福祉センター完成
- 7月 第10代市長に森直之
- 51年(1976) 9月 9・12集中豪雨災害
- 10月 戦災復興事業に終止符
- 52年(1977) 8月 三城公園に身体障がい者用プールオープン
- 53年(1978) 4月 保健センター開設
- 54年(1979) 4月 青少年憩いの森オープン
- 55年(1980) 1月 市立図書館完成
- 2月 総合体育館完成
- 56年(1981) 4月 第11代市長に岩田巖
- 57年(1982) 4月 野外活動センターオープン
- 10月 歴史民俗資料館完成
- 12月 国道258号全線開通
- 58年(1983) 7月 山村体験宿泊施設「奥養老」オープン〈養老郡上石津町〉
- 8月 シルバー人材センター発足
- 59年(1984) 10月 第3セクター樽見鉄道開業
- 60年(1985) 3月 保健センター・急患医療センター完成
- 4月 第12代市長に小倉満
- 6月 総合福祉会館完成
- 10月 初代大垣藩主・戸田公入城350年祭開催、郷土館完成
- 12月 大垣駅改築工事完成
- 61年(1986) 3月 大垣駅ビル「アピオ」完成、水門川に四季の広場完成
- 62年(1987) 3月 特別養護老人ホーム「くすのき苑」完成
- 9月 浅中公園総合グラウンド完成
- 10月 大垣駅前広場完成
- 63年(1988) 4月 市民憲章制定、西濃広域イベント「スィンク」事業始まる
- 9月 (財)大垣国際交流協会設立
- 10月 市制70周年記念式典開催、フレンドリーシティ交流開始

21世紀の幕開け 飛躍・輝き・安心 のまちづくり



大垣市・上石津町・墨俣町合併記念式典／平成18年3月

新・大垣市 歩み始める

平成13年(2001)、21世紀の幕開けとともに大垣らしさにあふれ、住みやすく魅力ある大垣市を目指した第四次総合計画がスタート。市民・企業・行政が協働し、市民としての誇りと愛着を持てるまちづくりを進めました。

平成14年(2002)6月に総合的な子育て支援の拠点「子育て交流プラザ」をオープン。運営はNPO法人に委託され、市民と行政の協働による新しいまちづくりの姿として注目されました。平成15年(2003)7月には市民活動の拠点施設「まちづくり市民活動支援センター」、平成19年(2007)10月には観光情報の発信とにぎわい創出の拠点として「多目的交流イベントハウス」をオープンしました。

俳聖・松尾芭蕉の生誕360年を記念して、平成16年(2004)に「おおがき芭蕉生誕360年祭」を開催。奥の細道むすびの地「大垣」を全国に向けて発信しようと、芭蕉翁にちなんださまざまなイベントを展開しました。

同年9月には、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活

力あふれるまちを創っていこうとする「かがやきライフタウン構想」を策定。この構想を推進するため、市民の皆さんが持つ知識・経験・能力を生かしたさまざまな活動を行い、自己実現や生きがいを実感できる輝いたまちづくりを進めています。

安全・安心のまちづくりにも力を入れ、平成16年(2004)5月には、ボランティアで防犯パトロールをしていただく「さわやかみまもりEye(アイ)」をスタート。地域の安全を守る市民の皆さんの活動に、大きな期待が寄せられています。

また、地球温暖化などの環境問題が大きく取り上げられる中、平成14年(2002)から始まった市民団体によるレジ袋削減の活動は、平成19年(2007)4月、実行委員会を中心とした「レジ袋ないない大運動会」となり、市民・事業所・行政が協働し、ごみを減量しながら、緑あふれるまちづくりに取り組み、平成20年3月からレジ袋の有料化がスタートしました。

平成18年(2006)3月27日、養老郡上石津町・安八郡墨俣町と合併し、新・大垣市が誕生。人口は約16万6,000人、面積は約2.6倍の約207km²になりました。

新市が目指すのは、新たな魅力を生かした「水と緑の文化・産業・情報・交流都市」。飛躍・輝き・安心をキーワードに、それぞれの地域がこれまで守り続けてきた伝統や文化、豊かな自然、都市としての機能を融合させ、都市の魅力と歴史・自然が織りなす活力あるまち「ダイナミックシティ」として、大垣市はさらなる発展を続けます。



守屋多々志美術館オープン／平成13年7月



子育て交流プラザオープン／平成14年6月



地域事務所開所式／平成18年3月



式辞を述べる市長



合併功労者に総務大臣表彰



おおがき芭蕉生誕360年祭／平成16年4月～17年1月



大垣環状線全線開通／平成16年4月



大垣消防組合消防本部の新庁舎／平成17年2月



土・日・祝日も業務を行う市民サービスセンターを開設／平成19年1月



レジ袋ないない大運動会を展開／平成19年4月～21年1月

History

- 平成13年(2001) 4月 第13代市長に小川敏、大垣衛生センター改築・運用開始
- 7月 大型ごみの戸別有料収集開始、守屋多々志美術館オープン
- 14年(2002) 4月 日本まんなか共和国文化首都開都式
- 6月 子育て交流プラザオープン
- 7月 台風6号による豪雨災害
- 8月 リサイクルプラザオープン
- 15年(2003) 5月 地域安全「さわやかパトロール」開始
- 7月 まちづくり市民活動支援センターオープン
- 16年(2004) 4月 おおがき芭蕉生誕360年祭開幕、大垣環状線全線開通、「心やすらぎの都市」を宣言
- 5月 ボランティアパトロール「さわやかみまもりEye」開始
- 10月 台風23号による豪雨災害
- 17年(2005) 2月 大垣消防組合消防本部・中消防署の新庁舎完成
- 3月 「男女共同参画都市」を宣言
- 11月 知的障害者通所授産施設「かわなみ作業所」改築工事完成
- 18年(2006) 3月 養老郡上石津町・安八郡墨俣町と合併
- 19年(2007) 1月 市民サービスセンター開設、市民病院3病棟改築工事完成
- 4月 レジ袋ないない大運動会展開
- 10月 多目的交流イベントハウスオープン
- 20年(2008) 3月 レジ袋有料化開始
- 10月 市制90周年記念式典開催

大垣市制90周年 記念事業一覧

主な記念事業

◆大垣ルネサンス先賢フェスティバル

●オープニングセレモニー

4月26日＝スイトピアセンター。記念イベントやオープニング宣言、シンボルマーク・キャッチフレーズの表彰など。市主催



●大垣ルネサンス先賢展「春」

4月26日～5月25日＝スイトピアセンター。「花と音楽のまち」をテーマに、5人の先賢ゆかりの品の展示、講演会や市民団体による参加体験事業、ギャラリーコンサートなど。市主催

●大垣ルネサンス先賢展「夏」

6月28日～7月27日＝スイトピアセンター。「鉄道と交通のまち」をテーマに、5人の先賢ゆかりの品の展示。同時開催の「親子で遊ぼう鉄道 in 大垣」で多彩なイベントを開催。市主催

●大垣ルネサンス先賢展「秋」

10月4日～11月3日＝スイトピアセンター。「歴史と文化のまち」をテーマに、12人の先賢ゆかりの品の展示、講演会や市民団体による参加体験事業、ギャラリーコンサートなど。市主催

●大垣ルネサンス先賢展「冬」

2月7日～3月8日＝スイトピアセン

ターほか。「産業と防災のまち」をテーマに、9人の先賢のゆかりの品の展示、講演会や市民団体による参加体験事業、ギャラリーコンサートなど。市主催

●エンディングセレモニー

3月8日＝大垣城ホール。記念イベント「歌と映像でつづる大垣市制90周年～未来につなぐ心のふるさと大垣～」や未来宣言、エンディング合唱など。市主催

◆市民花飾りギャラリー

4月下旬～3月下旬＝市役所本庁舎ロータリー前ほか。市民団体による年間を通した花の植栽と管理運営。市主催

◆公共施設花いっぱい・花飾り事業

4月14日～3月31日＝市役所本庁舎ほか。職員が自宅などに咲いている花を持ち寄り、庁舎内のカウンターなどに飾る。市主催

◆市役所ロビーコンサート

4月30日～3月25日＝市役所本庁舎。大垣ルネサンス先賢フェスティバルを盛り上げるための市民公募によるロビーコンサート。市主催



◆大垣市民の歌などの庁内放送

6月23日～3月30日＝市役所本庁舎ほか。「大垣市民の歌」「水と光の街」「君おぼえてるかい」を昼休みに放送。市主催

◆アンサンブル・ラロ室内楽コンサート

7月18日＝スイトピアセンター。大垣藩初代藩主・戸田氏鉄公の子孫で、チェロ奏者のベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク氏らによる演

奏会。市教育委員会主催

◆守屋多々志記念展

9月6日～11月3日＝守屋多々志美術館。「時空(とき)を巡る」をテーマにした、守屋画伯の多様で多岐にわたる歴史画の展示や記念講演会。市教育委員会主催

◆市の魚「ハリヨ」制定

水環境を守るシンボルとして市の魚を募集。9月定例会で議決。10月11日に告示・制定。市制90周年記念式典で発表。市主催

◆市制90周年記念式典

10月11日＝スイトピアセンター。フレンドリーシティ紹介や栄誉市民章贈呈式、奥の細道むすびの地周辺整備構想の発表など。市主催



◆大垣市民の集い

10月11日＝大垣駅通り。大垣まつりの11両の軸の特別曳き揃えや朝鮮通信使行列、特設ステージイベント、岐阜放送ラジオの公開生放送など。市主催

◆フレンドリーシティ招聘事業

市制90周年記念式典の開催に際し、フレンドリーシティから5都市の代表者らを招聘。市主催

◆フレンドリーシティレセプション

10月11日＝大垣フォーラムホテル。フレンドリーシティからの来垣者を歓迎するレセプション。市主催

◆かがやきっ子作品展

11月15日～17日＝各地域。幼保園・保育園・幼稚園と地域住民とによる共同作品展。市主催

◆松竹大歌舞伎

11月15日＝市民会館。文化芸術の振興・芭蕉元禄の街の推進のた

め、歌舞伎公演を開催。市教育委員会主催

◆市役所ロビーのクリスマス飾り

12月3日～25日＝市役所本庁舎。保育園児と市民団体によるクリスマス飾り。市主催

◆ふるさと再発見おおがきウォーキング

12月7日＝上石津地域、3月1日＝墨俣地域、3月8日＝大垣地域。ふるさと大垣の魅力を再発見しようと、3地域の史跡などをめぐるウォーキング。市教育委員会主催

◆大垣第九演奏会

12月7日＝市民会館。演奏は大垣市室内管弦楽団、合唱は公募で集まった「大垣第九を歌う会」の皆さんらによる、ベートーベン「交響曲第九番」の演奏会。大垣第九演奏会実行委員会主催

◆城下町おおがき新春マラソン2009

1月3日＝中心市街地。ゲストランナーを迎えての、小学生の部(4年生以上)、中学生の部、一般・高校の部、ウォーキングの部からなるマラソン。城下町おおがき新春マラソン2009実行委員会主催

◆ニューイヤーコンサート

1月4日＝スイトピアセンター。ウィーンフィル第1バイオリン奏者で、大垣藩初代藩主・戸田氏鉄公の子孫でもある、ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク氏らによる演奏会。市教育委員会主催



◆市役所かがやきギャラリー

1月28日＝市役所本庁舎。大垣市かがやき成人学校の受講生の作

品展。市主催

◆全国男女共同参画宣言都市サミット in おおがき

1月30日＝大垣フォーラムホテル。男女共同参画都市を宣言している5都市の代表によるシンポジウムなど。内閣府、大垣市、全国男女共同参画宣言都市サミット in おおがき実行委員会共催



◆大垣市男女共同参画フォーラム

1月31日＝スイトピアセンター。4つの分科会の開催や男女共同参画社会づくりを積極的に推進している個人・団体の表彰など。大垣市、全国男女共同参画宣言都市サミット in おおがき実行委員会共催

◆さわやかスポーツ交流会

1月31日＝総合体育館。北京オリンピック・バドミントン競技5位入賞の潮田玲子選手らによる技術指導とトークショー。市教育委員会主催

◆ものづくりフェスティバル

3月7・8日＝大垣城ホールほか。市内ものづくり企業の展示やサイエンスショー、ロボット展示とデモンストレーション、ものづくり体験など。市主催

◆大垣ルネサンス先賢展記録誌作成

大垣ルネサンス先賢展の展示品を写真などで紹介する図録。市主催

◆大垣市制90周年記録集作成

市制90周年記念事業や市のあゆみを紹介する記録集。市主催

◆市民手づくり事業

市民団体から事業を募集し、優れた提案のあった市民団体に事業の企画運営を委託して実施。市主催
●「鉄道のまち大垣」PRとクリー

ンアップ作戦

6月29日＝大垣駅周辺

●鉄道と交通の歴史と遺産めぐり

7月19日＝市内一円

●おおがきライブ・ラリー

9月21日～23日＝市内飲食店ほか

●「100周年のときにはこんな街になったらいいな」絵画コンクール表彰式

10月4日＝アピオ

●木曾真奈美ジョイントコンサート

10月16日＝スイトピアセンター

●大垣市民「いい笑顔」大会

10月18日＝ソフトピアジャパンセンタービル一帯

●ドイツ・ベルリン「カニジウス高校」オーケストラ部演奏会

10月22日＝スイトピアセンター

●琵琶で語る「小栗判官と照手姫」

10月25日＝美濃国分寺

●大垣まち歌舞伎

～歌舞伎を彩る色・技・音～

10月26日、11月2・12日＝スイトピアセンターほか

●時山さしこ200%魅力アップ事業

講演会「おしゃれと時山さしこ」

10月28日＝時山文化伝承館

●5ヶ国語で案内__私のイチ押し(ワンクリック)大垣スポット

10月～2月＝WEB上

●未来ハリヨ対談&映画「はりんこ愛あるゆえに」上映

11月1日＝総合福祉会館

●市民公開シンポジウム「目で見える楽しい大垣市90年のアルバム」

11月3日＝総合福祉会館

●西美濃バンザイ! 米が食べたなるうんめ～おかずコンテスト

11月15日＝大垣城ホール

●オレンち自慢大会

11月15日＝新大橋特設ステージ

●芭蕉と出会う街大垣検定試験

12月7日＝岐阜経済大学

●来るべき市制100周年を迎えるための「大垣の未来を語るシンポジウム」

2月14日＝スイトピアセンター

- 市民文化講演会「元気配達人パ
ンチ佐藤講演会」
2月22日＝情報工房
- いき粋墨俣つりびな小町めぐり
2月27日～3月8日＝美濃路墨俣
宿一帯
- 「ふるさと再発見写真俳句」～
家族での散策を通して～表彰式
3月7日＝スイトピアセンター

主な広告宣伝事業

- ◆市制90周年記念シンボルマー
ク・キャッチフレーズの決定
市制90周年記念シンボルマー
ク・キャッチフレーズを募集し決定。
市制90周年PRに活用。市主催
- ◆テレビ番組公開録画
5月16日＝市民会館。NHK総合
テレビ「それいけ！民謡うた祭り」
の公開録画。日本放送協会主催



- ◆懸垂幕・横断幕の設置
4月22日～3月31日＝市役所本庁
舎ほか。市制90周年をPRするた
めの懸垂幕・横断幕を作製し設
置。市主催
- ◆フラッグなどの設置



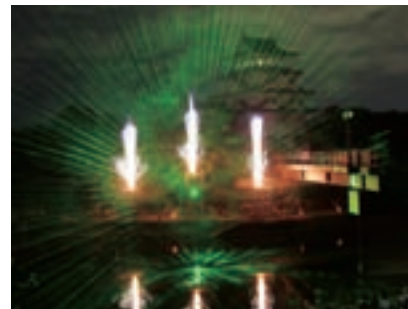
- 5月8日～3月31日＝中心市街地商
店街。市制90周年をPRするための
フラッグなどを設置。維持管理は
大垣市商店街連絡協議会。市主催
- ◆のぼり旗の設置
6月18日～3月31日＝市役所本庁
舎ほか。大垣ルネサンス先賢フェ
スティバルをPRするのぼり旗を作
製し設置。市主催
- ◆市制90周年記念品の配布
自治会回覧板を作製し、5月下
旬～6月上旬に各自治会に配布。
クリアファイルを作成し、10月上
旬に各小・中学校の児童・生徒に配
布。市主催

主な関連事業

- ◆舟下り芭蕉祭「元禄大垣仮装大会」
4月6日＝四季の広場ほか。元禄
時代をテーマとした仮装大会。大
垣青年クラブ主催
- ◆写真で見るわがまち大垣のあ
ゆみ
4月～3月＝スイトピアセンター。
市の90年のあゆみを振り返る写真
展を先賢展と同時開催。市主催
- ◆地産地消朝市まつり
5月3日＝かみいしづ緑の村公園。
市内9か所の朝市を一堂に集めて
の朝市まつり。地産地消朝市まつ
り実行委員会主催
- ◆外国語市紹介パンフレット作成
6言語（英・ドイツ・フランス・中
国・韓国・ポルトガル）の市紹介パ



- ンフレット。市主催
- ◆もんでこかみいしづ
7月19日＝かみいしづ緑の村公
園。緑の村公園の夏まつりのフィ
ナーレを飾る花火の打ち上げ。も
んでこかみいしづ実行委員会主催
- ◆水都大垣花火大会
7月26日＝揖斐川畔。ミュージッ
ク花火の打ち上げ。岐阜新聞・岐
阜放送主催
- ◆忍者電車でGO！GO！夏之陣
7月20日～8月31日＝西濃地域ほ
か。養老鉄道やJRを利用したクイ
ズラリー（暗号謎解き）。西濃青年
のつどい協議会主催
- ◆すのまた天王祭
7月27日＝墨俣町墨俣一円。レ
ーザー光線や音楽などからなる
「未来に届け 音と光のファンタ
ジー」を開催。すのまた天王祭実
行委員会主催



- ◆水まつり「炎と太鼓の競演」
8月3日＝大垣駅通り。太鼓の演
奏と手筒花火の競演などを開催。
水まつり実行委員会主催
- ◆十万石まつり
10月12日＝大垣駅通り。市制90
周年にちなんで90基のみこしの練
り歩き。十万石まつり実行委員会、
大垣市青年のつどい協議会主催
- ◆市制90周年記念式典・大垣市
民の集い写真展
10月20日～11月14日＝市役所本
庁舎ほか。市制90周年記念式典・
大垣市民の集いを振り返る写真
展。市主催

- ◆山中千尋ピアノトリオジャズ
コンサート
11月30日＝日本昭和音楽村。世
界に誇るジャズピアニスト山中千
尋氏らによるジャズピアノコンサ
ート。市教育委員会主催
- ◆ティンティン中国琵琶コンサート
12月13日＝墨俣さくら会館。シル
クロード西安出身の中国琵琶奏者
のティンティン氏らによる中国琵琶
コンサート。市教育委員会主催
- ◆水都っ子集まれ！手づくりた
こあげ大会
1月17日＝杭瀬川スポーツ公園。
子ども会会員や未就学児を対象に
した、連風の部・個人の部などか
らなるたこあげ大会。市教育委員
会主催



- ◆ダイナミックシティ大垣 子ど
も「夢・未来」事業
独立行政法人宇宙航空研究開発
機構から講師を招き、「夢を持ち未
来に羽ばたく子どもを育てる」をキ
ーワードにしたスクール。市主催
- 子ども「夢」スクール
7月～12月＝各小学校。対象は
小学校5・6年生



- 子ども「未来」スクール
1月18日＝スイトピアセンター。対
象は小学生と保護者
- ◆子ども読書フェスティバル
2月14・15日＝スイトピアセンタ
ー。講演会や絵本の読み聞かせ、
人形劇の上演、手作りおもちゃ体
験など。大垣市子ども読書フェス
ティバル実行委員会、市教育委員
会主催



- ◆大垣国際交流協会事業
（財）大垣国際交流協会設立20
周年記念誌の発行、日本人ブラジ
ル移住100周年記念事業「聴いて、
食べて、ブラジル大集合！」を12月
14日にスイトピアセンターで開催。
（財）大垣国際交流協会主催

主な協賛事業

- ◆美輪明宏音楽界＜愛＞
3月8日＝市民会館。岐阜新聞・
岐阜放送主催
- ◆かがやきライフ市民公開コンサ
ート吹奏楽と合唱を楽しむ集い
3月30日＝情報工房。北辰58の会
主催
- ◆岐阜県ラグビー祭IN大垣プレ
イメント平尾誠二講演会
4月21日＝情報工房。大垣市体育
連盟主催
- ◆第20回西濃幹部会邦楽演奏会
4月27日＝スイトピアセンター。日
本尺八連盟西濃幹部会主催
- ◆文化フェスティバル
5月25日～1月25日＝スイトピアセ

- ンターほか。文化フェスティバル実
行委員会主催
- ◆大垣ロックフェスティバル
6月8日＝大垣公園城西広場ほ
か。大垣ロックフェスティバル実行
委員会主催
- ◆第21回西濃綱引選手権大会
6月15日＝総合体育館。大垣市綱
引連盟主催
- ◆第20回神心流尚道館「吟と舞」
東海西濃地区大会
6月15日＝スイトピアセンター。神
心流尚道館東海西濃地区本部主催
- ◆市制90周年記念乗車券事業
6月28日～3月8日＝養老鉄道西大
垣駅ほか。養老鉄道主催
- ◆第32回大垣市自治会対抗交
歓バレーボール中央大会
7月6日＝市総合体育館。大垣市
連合体育振興会主催
- ◆かすみ会夏の夜のコンサート
「ドレスデンの風」
7月13日＝スイトピアセンター。か
すみの会夏の夜コンサート実行委
員会主催
- ◆大垣市文化財保護協会記念講演会
7月13日＝スイトピアセンター。大
垣市文化財保護協会主催
- ◆第54回大垣市自治会長研修大会
7月19日＝スイトピアセンター。大
垣市連合自治会連絡協議会主催
- ◆第2回歴史観光講座（墨俣地域）
7月26日ほか計5回開催＝墨俣さ
くら会館。ふるさと大垣案内の会
主催
- ◆第7回歩いて観よう水門川ク
リーン作戦＆川底学習会
7月26日＝水門川。水門川クリー
ン作戦実行委員会主催



◆情報工房開館10周年記念事業

8月1日～10日＝情報工房。情報工房指定管理者主催

◆ソフトピアジャパン夏祭り

8月1日＝ソフトピアジャパンセンタービル一帯。ソフトピアジャパン四季の回廊推進委員会主催

◆水門川カヌーフェスティバル

8月9日＝四季の広場。NPO法人まち創り主催

◆第7回全国高校生ポスターコンクール（ポスター甲子園）

8月18日～28日＝スイトピアセンター。全国高校生ポスターコンクール実行委員会主催

◆大垣市老人クラブ連合会芸能大会

8月22日＝スイトピアセンター。大垣市老人クラブ連合会主催

◆第11回ゆうゆう五十路バレーボール交流大会

8月31日＝市総合体育館。大垣市連合体育振興会主催

◆第32回大垣市自治会対抗交歓ソフトボール中央大会

9月7・14日＝杭瀬川スポーツ公園。大垣市連合体育振興会主催

◆第17回シルバー軽スポーツ大会

9月11日＝南公園運動場。大垣市老人クラブ連合会主催



◆大垣歴史講演会

9月20日、10月4日＝スイトピアセンター。まちづくり工房大垣歴史観光グループ、大垣市文化財保護協会主催

◆大垣新声会創立5周年記念大会

9月27日＝スイトピアセンター。大

垣新声会主催

◆立命館大学交響楽団演奏会

10月4日＝市民会館。立命館大学交響楽団演奏会実行委員会主催

◆高齢者体育大会

10月9日＝大垣城ホール。大垣市老人クラブ連合会主催

◆ソフトピアジャパン文化祭「ソフこい祭り」

10月18日＝ソフトピアジャパン一帯。ソフトピアジャパン四季の回廊推進委員会主催

◆芭蕉元禄の街大垣 歴史文化と芭蕉水御膳を味わう旅

10月18日、11月1・15日＝中心市街地一帯。大垣商工会議所、大垣の歴史文化と芭蕉水御膳体験周遊事業実行委員会主催

◆奥の細道むすびの地「大垣」芭蕉蛤塚忌全国俳句大会

10月19日＝総合福祉会館ほか。「大垣」全国俳句大会実行委員会主催



◆第26回会長旗争奪スローピッチソフトボール中央大会

10月26日＝杭瀬川スポーツ公園。大垣市連合体育振興会主催

◆第29回福寿杯争奪岐阜新聞大垣婦人バレーボール中央大会

11月9日＝総合体育館。大垣市連合体育振興会主催

◆芭蕉元禄の街大垣 デジタルフォトコンテスト2008表彰式

11月15日＝新大橋特設ステージ。芭蕉元禄の街大垣デジタルフォトコンテスト実行委員会主催

◆第7回西濃映像祭「簡単ビデオ編集ワークショップ教室」

11月29日＝スイトピアセンター。西濃映像祭実行委員会、大垣ビデオ主催

◆ソフトピアジャパン冬のファンタジー

12月4日～26日＝ソフトピアジャパンセンタービル一帯。ソフトピアジャパン四季の回廊推進委員会主催

◆ウォータークリスマス

12月6日～25日＝貴船広場ほか。水門川ルネッサンス・ウォータークリスマス実行委員会主催

◆友麻垂里20周年記念コンサート

1月5日＝スイトピアセンター。大垣市文化事業団主催

◆第21回ジュニア文化祭

1月12日＝スイトピアセンター。岐阜県教育文化財団主催



◆ふるさと大垣歴史観光講座

1月25日、2月22日＝総合福祉会館。ふるさと大垣案内の会主催

◆平野学園2009大垣ファッションフェスティバル

2月22日＝スイトピアセンター。平野学園主催

◆第7回西濃映像祭

3月7日＝ソフトピアジャパンセンタービル。西濃映像祭実行委員会、大垣ビデオ主催

◆韓国のスーパーピアニストとウインドアンサンブルのジョイントコンサート

3月7日＝スイトピアセンターほか。スーパーピアニストとウインドアンサンブルコンサート実行委員会



市章

（大正7年4月1日制定）

大垣市の「大」を図案化したもので、「大柿」のへたの形も表しています。

大垣市民の誓い

（昭和63年4月1日制定）

私たちは、伊吹山系と揖斐川水系のもつ美しい自然に恵まれ、歴史と文化と産業の伝統を受け継いできた大垣市民です。

私たちは、お互いに誇りと責任をもち、それを未来にひらく、活力にみちたまちづくりをすすめるため、市民の誓いを定めます。

私たちは
水を生かし
緑を広げ
安全に努め
心を育て
助け合います



市の木「クスノキ」

（昭和48年制定）



市の花「サツキ」

（昭和48年制定）



市の魚「ハリヨ」

（平成20年制定）

フレンドリーシティ

昭和63年（1988）に市制70周年を記念して始まったフレンドリーシティ交流。現在では、海外6都市・国内2都市と交流が続いています。



【オーストラリア】グレンアイラ市



【日本】鹿児島市



【アメリカ】ベリア市



【中国】邯鄲（ハンタン）市



【ベルギー】ナミュール市



【韓国】昌原（チャンウォン）市



【日本】日置市



【ドイツ】シュツットガルト市